

施策マネジメントシート(平成27年度の振り返り、総括)

作成日 平成 28 年 6 月 23 日

基本目標	V	豊かな心と文化を育むまち	主管課	名称	教育課
				課長	杉木 隆司
施策	27	生涯学習の推進	関係課		

施策の目的	対象	意図	基本事業名	対象	意図
			2 学習機会の充実	生涯学習に取り組んでいる人、意欲や関心がある人	学習する機会を得られる。
			3 学習環境の整備	生涯学習に取り組んでいる人、意欲や関心がある人	学習する場を確保できる。
			4		
			5		

成果指標	成果指標名		区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	A	日頃から、生涯学習を行っている町民の割合		%	実績値	35.5	27.4	25.7	23.9	23.9
			目標値		35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0
B	文化協会加盟団体登録者数	人	実績値	1,331	1,314	1,207	1,012	1,041		
			目標値		1,320	1,320	1,320	1,320	1,320	1,320
C	生涯学習施設利用者数 (中央公民館・水上公民館・新治公民館)	人	実績値	13,700	13,865	13,227	13,279	12,244		
			目標値		14,000	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000
D			実績値							
			目標値							
E			実績値							
			目標値							
F			実績値							
			目標値							

指標設定の考え方と実績値の把握方法

A) 直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成できているといえるため成果指標とした。
 町民アンケートにより把握
 ※あなたは日頃、テーマを持って学習活動に取り組んでいますか。→「ほぼ毎日」、「週に1日以上」、「月に1回程度」、「年に数回程度」と回答した人の割合

B) 文化協会登録団体者数(自らの教養を高めるための学習活動を行っている人達)であり、数値が変わらずに推移すれば目標が達成できているといえるため成果指標とした。

C) 中央・水上・新治の3公民館で生涯学習のために利用した人数であり、数値が高まれば目的が達成できているといえるため成果指標とした。

目標値設定の考え方

A) 生涯学習を行っている人(文化協会など)には高齢者の割合が高い。
 若い人の参加が鈍いことを考えると、今後、学習を行っている人の割合が徐々に減少すると想定される。
 平成20年度水準(35.0%)を維持し、町民の3人に1人以上が生涯学習を行っている状態をめざす。

B) 文化協会加盟者は、高齢者が多く人数も減少傾向である。現状を維持するため各文化団体を支援し町文化祭への参加と充実。また生涯学習活動のきっかけを作る事業を実施し、文化協会に加盟してもらえよう自主活動グループの育成をめざす。

C) 施設利用者数は町内教育委員会管理施設で開催されている各教室、講座等の延べ数。

施策のための目的・役割・目標達成	1. 町民(事業所、地域、団体)の役割	2. 行政(町、県、国)の役割
	①生涯学習の必要性を感じ、生きがいとなるような学習活動を行う。 ②学習の楽しさを広め仲間づくりを行うなど、普及啓発に取り組む。 ③指導者となり、さらには後継者を育成する。	①生涯学習の機会の提供や契機づけを行う。 ②生涯学習施設の整備と管理運営を行い、生涯学習を行うための場を提供する。 ③生涯学習を行う人・団体の活動を支援する。

施策を取り巻く状況	1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか?	2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?
	①今年度のアンケート結果を見ると生涯学習を行う人の割合は30代から50代が低い結果となっている。 ②生涯学習に関して、今後5年間では法的に大きな変更はない。 ③社会教育委員による、みなかみ町図書利用についての検討会が行われている。 ④今後、高齢者の利用が増加するためバリアフリー等、利便性の良い施設が必要となる。	①毎年、講座修了後のアンケート等から手軽(初心者向け)に学びたいという声があり、学習講座の開催を希望する声がある。 ②各団体の講習会等開催チラシ配布の依頼や後援等の支援要望がある。 文化祭の会場設営では、参加者の高齢化に伴い手伝いを出していただきたいとの要望がある。 ③各図書室について改善要望の声がある。 ④施設によっては、駐車場の確保やバリアフリーが必要という声がある。

施策	27	生涯学習の推進	主管課	名称	教育課
				課長	杉木 隆司

		実績比較	背景・要因
施策の成果水準の分析と背景・要因の考察	① 時系列比較	<input type="checkbox"/> かなり向上した。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば向上した。 <input type="checkbox"/> ほとんど変わらない。(横ばい状態) <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば低下した。 <input type="checkbox"/> かなり低下した。	①日頃から生涯学習を行っている町民の割合は、平成26年度23.9%、平成27年度23.9%と横ばいになっている。 年齢別の平均では25.1%となっているが、20歳代では平成26年度22.5%から平成27年度40.0%と上昇し、ほかの年代と比較し高い割合になっている。40歳代では平成26年度26.1%から平成27年度18.2%と7.9ポイント下降している。 ②文化協会登録者は、年々高齢化が進み活動できなくなる団体もあるが、横ばい傾向である。 ③各公民館は活動の拠点となっており、サークル活動や学習会等が行われている。利用者は減少している。
	② 他団体との比較	<input type="checkbox"/> かなり高い水準である。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば高い水準である。 <input type="checkbox"/> ほぼ同水準である。 <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば低い水準である。 <input type="checkbox"/> かなり低い水準である。	①一般に公民館講座と呼ばれているような町民向けの学習講座が少ない。みなかみ町の公民館事業としての講座やイベントは実施していない。(生涯学習推進室の企画事業のみ) ②文化協会の活動は、近隣市町村と比べて自主的に企画立案しており、活動内容の充実(研修会、講習会、後継者育成等)が図られている。平成27年度郡内の文化協会人数(人口比率)は、みなかみ町1,041人(5.0%) 昭和村 571人(7.4%) 川場村396人(11.5%) 片品村403人(8.3%)である。 ③図書館のない自治体は、県内35市町村のうち、みなかみ町を含め14町村である。一方で、カルチャーセンターは沼田文化会館に比べ、適切な規模であったり使用料も低く設定しているなど、使いやすい状況にある。平成27年度に生涯学習のために利用した町民は3,539人(全利用者24,340人)。 ④図書室の蔵書の一人当たり冊数は、みなかみ町3.1冊であり、郡内では川場村3.7冊、片品村1.6冊、昭和村2.5冊。(平成27年度調べ)
	③ 目標の達成状況	<input type="checkbox"/> 目標値を大きく上回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少上回った。 <input type="checkbox"/> ほぼ目標値どおりの成果であった。 <input checked="" type="checkbox"/> 目標値を多少下回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を大きく下回った。	①アンケート結果は目標値を下回っている。ただし、生涯学習は多種多様であり、個人の意識もそれぞれ差がある。学習を行っていると捉えている人、あくまでも趣味として楽しんでいる人など、様々でありアンケートでは捉えられない部分もある。 ②登録者数は目標値を下回っている。ただし、文化協会は、高齢化が進み継続できない団体もあるなか、役員を中心に活動は活発である。文化祭や教養講座等自主的に運営されている。 ③公民館利用者数は目標値を下回っている。各地区公民館のうち新治公民館の利用者が少ない状況である。各施設での活動内容は、サークルの学習活動やキッズセンター等、青少年の体験活動の機会提供や居場所づくりに利用されている。
成果実績に対する取り組みの総括	①文化・社会教育の振興を図るため、公募により、活動団体に対して文化活動補助事業補助金(計560千円)を7団体に交付した。 ②文化水準の向上、生涯学習への意欲の向上のため文化祭を開催し、各団体日頃の学習成果の発表の場を設けている。 ③社会教育委員連絡協議会において、社会教育に関する諸計画の立案、会議の開催、研修会へ参加したことで、社会教育委員としての資質の向上ができた。 ④平成27年度の生涯学習大会は、カルチャーセンターにおいて、子ども歌舞伎・下牧人形芝居の公演、月夜野おはなしの会の読み聞かせを開催した。 他に、町内放課後子ども教室による活動発表(パネル展示)を行った。参加者は約160名であった。 ⑤英会話講座(初級編)を開催した。講座終了後、受講者による英会話教室が引き続き公民館で行われている。 ⑥NHKの大河ドラマ真田丸を題材とした「戦国期の利根沼田と名胡桃城址」の講演会を開催した。 ⑦平成27年度、町内のコーラスグループの発表の場として、カルチャーセンター自主事業「みなかみ町合唱祭」を開催した。		

		基本事業名	今後の課題	平成29年度の取り組み方針(案)
今後の課題と取り組み方針(案)	1	学習意欲の高揚	①生涯学習に意欲、関心のない町民に対し取り組みへの意識付けが必要である。(30~50代)	①生涯学習大会等の楽しさや必要性の啓発のための広報等の配布をする。 ②社会教育委員に意見を求め、興味・関心を引く内容を検討し、講座や教室を実施する。平成28年度はトランプマジック講座を開催し高齢者の方でも気楽に参加出来る内容にする。平成29年度以降も、参加者アンケートを取りニーズに合ったものを企画する。
	2	学習機会の充実	①町民の学習ニーズに応じた学習の機会を増やしていく。 ②自主的に学習活動するグループの活動を支援し、指導者の育成を図る必要がある。	①各種講座等の自主学習グループを支援をする。 ②生涯学習大会の内容を見直し、学習成果の発表の場を提供する。
	3	学習環境の整備	①町内図書室や会議室の利便性と利用環境の改善。	①町内の図書室や会議室を自主学習などに活用できるようにし、利用者の利便性を向上させる。 ②社会教育委員のみなかみ町図書利用等の検討会の報告書を基に改善、改修をしていく。
	4			

27 生涯学習の推進

27-01-000001		担当組織	教育課 生涯学習推進グループ			事業費	414,413円				
社会教育委員事業		予算科目	会計	一般会計	款	10教育費	項	6社会教育費	目	1社会教育総務費	
事業概要	事業の意図	社会教育施策の検討			平成27年度			単位	評価結果	○	目的妥当性
		社会教育委員からの提案数			2	件	×			有効性	○
総括と今後の方向性	全体総括	県連絡協議会で行う研修についてはなるべく多くの委員に参加してもらっているが、委員の半数は社会教育団体の会長である事から自分の団体の関係する会議や研修もあり、日程が取れない場合もある。また、年2~3回の社会教育委員会議を開催し、町の社会教育振興の発展に向けた提案やみなかみ町図書利用等の振興方策検討小委員会を立ち上げ、協議を行っている。今後更なる積極的な問題提起を促し、社会教育委員による協議機会を増やしていけたらよい。	今後の改革改善案	県連絡協議会の開催する研修内容は、町が拠出している負担金額から考えれば十分なものである。町社会教育委員が希望する研修内容があれば、県連絡協議会へ要望していくことも可能である。また、図書検討委員会による今後の図書室の在り方等、問題点を協議しながら方向性を検討。	課題とその解決策	社会教育委員の意向を反映していくためには、各委員が住民の意向を把握することが重要であり、そのための研修や工夫も必要。また、地域住民や各社会教育・体育団体の状況を把握すると共に、学校教育関係機関との交流も必要。					

27-02-000001		担当組織	教育課 生涯学習推進グループ			事業費	800,000円				
文化協会活動支援事業		予算科目	会計	一般会計	款	10教育費	項	6社会教育費	目	1社会教育総務費	
事業概要	事業の意図	文化振興を推進する			平成27年度			単位	評価結果	○	目的妥当性
		文化関係発表会等件数			25	件	×			有効性	○
総括と今後の方向性	全体総括	文化協会はすべての市町村に存在し、会員の高齢化、減少傾向はいずれの市町村でも同じ状況である。しかし、文化振興の要であり、工夫しながら維持していくべきである。	今後の改革改善案	①観光商工部門で実施している芸術文化事業との連携を模索する必要がある。②文化事業の後援推進。	課題とその解決策	常に様々な部門と連携・調整をはかる。					

27-02-000002		担当組織	教育課 生涯学習推進グループ			事業費	1,284,000円				
婦人会活動支援事業		予算科目	会計	一般会計	款	10教育費	項	6社会教育費	目	1社会教育総務費	
事業概要	事業の意図	豊かな人間性を培い、明るい町づくりに貢献する。・指導者研修会 ・みなかみ花火大会 ・藤原湖マラソン ・町民体育祭 ・健康づくり大会			平成27年度			単位	評価結果	○	目的妥当性
		地域に貢献した事業数			5	件	○			有効性	○
総括と今後の方向性	全体総括	地域に密着した活動を続けており、他団体等に与える影響も大きい。会員も楽しみながら活動している。しかし、社会情勢の変化により近年会員数が減少してきているため、このまま減少が続くと今後の活動にも支障が出てくるのが懸念される。	今後の改革改善案	会員数の減少が問題となりつつあるが、打開策が見つからないのが現状である。新規会員を増やすことも大事だが、現会員を大切にきめ細やかな活動を続けていきたい。	課題とその解決策	婦人会員も仕事をしている人が多く、すべての行事に参加するのは負担があるようである。あまり強制するのではなく、たとえ少人数でもやりたい人が楽しみながら参加できるような雰囲気作りを心がける。若い世代(30代40代)の会員も地域差はあるが活動している。地域の活動だけでなく、町婦人会の活動にも積極的に参加している様子が伺える。この世代の会員数を増やしていけるよう心掛ける。					

27-02-000003		担当組織	教育課 生涯学習推進グループ			事業費	409,287円				
文化祭事業		予算科目	会計	一般会計	款	10教育費	項	6社会教育費	目	1社会教育総務費	
事業概要	事業の意図	町民に文化活動に対する興味を持ってもらう。			平成27年度			単位	評価結果	○	目的妥当性
		見学者数			3,290	人	×			有効性	○
総括と今後の方向性	全体総括	文化協会加盟者数、文化祭見学者数を増やす努力が必要。	今後の改革改善案	文化祭参加者数および見学者数を増やすために内容を工夫する等の努力が必要。	課題とその解決策	文化協会加盟者数の増加は全国的な課題になっているが、他市町村等を参考に研究する必要がある。また、予算をかけなくても文化振興につながる事業をもっと推進していくべきである。					

27 生涯学習の推進

27-02-000004		担当組織	教育課 生涯学習推進グループ			事業費	24,887円			
おもしろ科学教室事業		予算科目	会計	一般会計	款	10教育費	項	6社会教育費	目	1社会教育総務費
事業概要	事業の意図	科学や自然に興味を持つ。探究心を持つ。豊かな心を育む。			平成27年度		単位	評価結果	<input type="radio"/>	目的妥当性
					参加児童数	35			人	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	効率性									
<input type="radio"/>	公平性									
総括と今後の方向性	全体総括	今後の改革改善案	子どもたちの貴重な体験活動の場として、今まで同様継続していきたい。			課題とその解決策	特に問題なく良い活動ができているので、引き続きこの状態を維持していきたい。			

27-02-000005		担当組織	教育課 生涯学習推進グループ			事業費	560,000円			
文化振興費補助金交付事業		予算科目	会計	一般会計	款	10教育費	項	6社会教育費	目	1社会教育総務費
事業概要	事業の意図	町民の文化活動・社会教育活動を推進および拡大する			平成27年度		単位	評価結果	<input type="radio"/>	目的妥当性
					補助金交付件数	7			件	<input checked="" type="radio"/>
<input type="radio"/>	効率性									
<input type="radio"/>	公平性									
総括と今後の方向性	全体総括	今後の改革改善案	事業の広報			課題とその解決策	様々な社会教育団体があるが中には補助金交付手続等の事務をほとんど行えない(できる人がいない)団体がある。しかし、事務担当者が一緒に申請書や報告書を作成してあげないと、結局、このような団体は活動できなくなってしまう。			

27-02-000006		担当組織	教育課 生涯学習推進グループ			事業費	877,780円			
生涯学習大会事業		予算科目	会計	一般会計	款	10教育費	項	6社会教育費	目	1社会教育総務費
事業概要	事業の意図	生涯にわたり学習することの意義を伝える			平成27年度		単位	評価結果	<input type="radio"/>	目的妥当性
					参加者数	160			人	<input checked="" type="radio"/>
<input checked="" type="radio"/>	効率性									
<input type="radio"/>	公平性									
総括と今後の方向性	全体総括	今後の改革改善案	町民の生涯学習活動への意欲を高めると共に、心豊かで、明るく、楽しく生きがいのある町づくりを目指す。講師等の選定や、学習団体の活動発表等の工夫により成果の向上を目指す。			課題とその解決策	生涯学習を進める上に置いて、今後学習団体等が増えてきた場合公民館や各施設の利用者による、施設の整備等の要望が予想される。			

27-02-000007		担当組織	教育課 生涯学習推進グループ			事業費	222,684円			
生涯学習講座事業		予算科目	会計	一般会計	款	10教育費	項	6社会教育費	目	1社会教育総務費
事業概要	事業の意図	自主的かつ主体的に学習する住民の増加			平成27年度		単位	評価結果	<input type="radio"/>	目的妥当性
					講座参加者(延べ)	360			人	<input checked="" type="radio"/>
<input checked="" type="radio"/>	効率性									
<input type="radio"/>	公平性									
総括と今後の方向性	全体総括	今後の改革改善案	生涯学習活動への意欲向上を高め、生き甲斐のある町づくりを目指す。生涯学習大会への参加、発表や将来の指導者として活躍してもらおう。			課題とその解決策	今後学習する人が増えてくると、公民館や各施設の整備等の要望が予想される。(利便性など)			

27 生涯学習の推進

27-02-000008		担当組織	教育課 生涯学習推進グループ			事業費	円			
剪画美術展事業		予算科目	会計		款		項		目	
事業概要	事業の意図	多くの人が剪画にふれて親しんでもらう。剪画の普及・芸術文化活動を通して、生活に潤いとゆとりをもち活力を生む。		平成27年度			単位	評価結果	○	目的妥当性
				剪画展入場者数			人		○	有効性
事業概要	事業の意図	多くの人が剪画にふれて親しんでもらう。剪画の普及・芸術文化活動を通して、生活に潤いとゆとりをもち活力を生む。		平成27年度			単位	評価結果	○	効率性
				剪画展入場者数			人		○	公平性
総括と今後の方向性	全体総括	日本剪画協会長の石田良介氏が旧月夜野町出身であることから、町民に芸術活動のひとつとして剪画展・教室を25年以上にわたり継続開催している。巡回展は日本剪画美術展に展示した一流作品が身近で鑑賞できるので、芸術の薫るまちづくりに適合している。最終日に行われる剪画教室にも少し時間を費やし、子どもたちにもっと剪画を普及させ、将来的な剪画展や教室のスタッフを育成したい。		今後の改革改善案	・巡回展を町内外のさらに広い地域で宣伝する。・剪画教室の講師数や日時等の規模を拡大し、内容及び質を高める。・剪画に親しむ機会や内容を検討し、町内に剪画文化を浸透させ、芸術家(プロ・指導者)を育成する。		課題とその解決策	事業費の予算措置が必要である。町内に日本剪画協会の石田会長の後継者がいないため、剪画美術展巡回展ができない。後継者の育成が急務である。27年度は、合併10周年記念事業としてまちづくり交流課が主体で行う。(剪画教室のみ教育委員会) 28年度も教育費に剪画教室の予算は計上されず、事実上廃止。		

27-02-000009		担当組織	教育課 生涯学習推進グループ			事業費	511,342円			
成人式事業		予算科目	会計	一般会計	款	10教育費	項	6社会教育費	目	1社会教育総務費
事業概要	事業の意図	両親や周囲の人に感謝し、責任ある社会人としての自覚を持つ。		平成27年度			単位	評価結果	○	目的妥当性
				参加率(町内中学校卒業者のみ)			86		%	○
事業概要	事業の意図	少子化の影響で該当者は減少してきているが、参加率は高い。		平成27年度			単位	評価結果	○	効率性
				参加率(町内中学校卒業者のみ)			86		%	○
総括と今後の方向性	全体総括	少子化の影響で該当者は減少してきているが、参加率は高い。		今後の改革改善案	思い出に残る式典になるよう、魅力あるアトラクションを用意したい。		課題とその解決策	予算が少ないため、選べる企画が限られる。予算を掛けず、なおかつ地元に着用を持ってもらうためにも、出来るだけ地元の人材を活用したい。		

27-02-000010		担当組織	まちづくり交流課 地域振興グループ			事業費	743,081円			
芸術のまちづくり実行委員会活動支援事業		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	2観光振興費
事業概要	事業の意図	芸術・文化に興味を持ち、自ら芸術活動に参画するようになる。		平成27年度			単位	評価結果	○	目的妥当性
				ワークショップ開催日数			1		回	○
事業概要	事業の意図	芸術・文化に興味を持ち、自ら芸術活動に参画するようになる。		平成27年度			単位	評価結果	○	効率性
				ワークショップ開催日数			1		回	○
総括と今後の方向性	全体総括	例年とおり、企画展をはじめ、絵画取扱講習会、ワークショップを開催し、町民が芸術に触れ合う機会を創出できた。		今後の改革改善案	・収蔵庫(新治支所)の2階はこれまでの作品でいっぱいである。今後、更に作品が増えることが予想されるため、棚の製作や他の空き施設の利用を考えるほか、絵画の展示をこれまで以上に促進する。		課題とその解決策	・ホテル・旅館・銀行等に展示する場合には、土日の対応とセキュリティの問題を解決しなければならない。・オブジェの収蔵については、引き受けないよう東京芸大に働きかける。		

27-03-000001		担当組織	教育課 生涯学習推進グループ			事業費	27,469,000円			
利根沼田文化会館運営費負担事業		予算科目	会計	一般会計	款	10教育費	項	6社会教育費	目	1社会教育総務費
事業概要	事業の意図	町内の文化団体あるいは住民が活用し、学校教育、社会教育の充実を図る。		平成27年度			単位	評価結果	×	目的妥当性
				町内文化団体数			87		団体	×
事業概要	事業の意図	町内の文化団体あるいは住民が活用し、学校教育、社会教育の充実を図る。		平成27年度			単位	評価結果	○	効率性
				町内文化団体数			87		団体	×
総括と今後の方向性	全体総括	文化会館負担事業事務は起票が主で負担のない事務量である。ただ、文化会館のあり方をみた場合、高額な負担金と利用実績との関係において如何なものか。		今後の改革改善案	建設当時と37年間経過してきた現在とで利用実態が変わってきているのではないか。広域圏事務局で行っているものなのでその検証ができないことと、広域運営ということで単独での改革・改善はできないことが課題。広域圏事務局に今後の運営のあり方を検討してもらうことが必要と考える。		課題とその解決策	建設当時と37年経過した現在とで利用実態が変わってきており、当初の費用負担が現状とマッチしているのか検証すべき。		

27 生涯学習の推進

27-03-000002		担当組織	教育課 生涯学習推進グループ			事業費	8,075円			
群馬県公民館連合会参画事業		予算科目	会計	一般会計	款	10教育費	項	6社会教育費	目	2公民館費
事業概要	事業の意図	公民館活動を推進するとともに公民館運営における知識を修得する。			平成27年度		単位	評価結果	×	目的妥当性
					公民館(3館)利用者数		人		×	有効性
								×	効率性	
								○	公平性	
総括と今後の方向性	全体総括	財政難により数年前から公民館事業(講座、文化活動等)が下火にある。町民が実施する文化活動を積極的に後援することで予算を節約しながら生涯学習を推進できるものと考えられる。ただ本連合会への所属については上記の理由により、不必要であると考えられる。よって本会から退会し、本事業を廃止する措置としたい。			今後の改革改善案	生涯学習とは一部無関係な利用団体があるが、利用料については多少再検討する必要がある。本連合会から退会し、事業を廃止としたい。			課題とその解決策	他市町村の公民館利用状況を参考にして、利用料、受付方法等を検討していく。本連合会から退会し、事業を廃止としたい。

27-03-000003		担当組織	教育課 生涯学習推進グループ			事業費	2,816,626円			
中央公民館管理運営事業		予算科目	会計	一般会計	款	10教育費	項	6社会教育費	目	2公民館費
事業概要	事業の意図	町民が利用しやすい公民館を運営していく			平成27年度		単位	評価結果	○	目的妥当性
					公民館利用者数		12,150		人	×
								○	効率性	
								○	公平性	
総括と今後の方向性	全体総括	財政難により数年前から公民館事業(講座、文化活動等)が下火にある。町民が実施する文化活動を積極的に後援することで予算を節約しながら生涯学習を推進できるものと考えられる。			今後の改革改善案	生涯学習とは一部無関係な利用団体があるが、利用料について再検討する必要がある。			課題とその解決策	他市町村の公民館利用状況を参考にして、利用料、受付方法等を検討していく。

27-03-000004		担当組織	教育課 生涯学習推進グループ			事業費	8,255,693円			
水上公民館管理運営事業		予算科目	会計	一般会計	款	10教育費	項	6社会教育費	目	2公民館費
事業概要	事業の意図	町民が利用しやすい公民館を運営していく			平成27年度		単位	評価結果	○	目的妥当性
					公民館利用者数		9,802		人	×
								○	効率性	
								○	公平性	
総括と今後の方向性	全体総括	財政難により数年前から公民館事業(講座、文化活動等)が下火にある。町民が実施する社会教育活動を積極的に後援することで予算を節約しながら生涯学習を推進できるものと考えられる。			今後の改革改善案	生涯学習とは一部無関係な利用団体があるが、利用料について再検討する必要がある。			課題とその解決策	施設の老朽化が目立ってきている。緊急避難場所に指定されていることもあり、注意が必要。

27-03-000005		担当組織	教育課 生涯学習推進グループ			事業費	円			
新治公民館管理運営事業		予算科目	会計		款		項		目	
事業概要	事業の意図	町民が利用しやすい公民館を運営していく			平成27年度		単位	評価結果	○	目的妥当性
					公民館利用者数		897		人	○
								○	効率性	
								○	公平性	
総括と今後の方向性	全体総括	事業を取り巻く環境が厳しい中での可能なサービスが展開されているが、町民の要望に対応できない部分もあると思われる。不行き届きの点は、町民の理解と協力を求めていくことが望ましい。又、事業は本庁の管轄になっているが、実務は現場の職員の協力が不可欠のため、円滑な連携を図ることが住民サービスの維持につながる。			今後の改革改善案	利用状況及び利用者のニーズを考慮して、より広く利用される施設運営を目指していく。			課題とその解決策	施設が支所内に設置されているため、支所の業務と兼務になっており、きめ細かなサービスは難しい面もあると思われる。 今後、人員を削減してサービスの維持を目指すのであれば、支所業務も含めた体制について検討する必要がある。

27 生涯学習の推進

27-03-000006		担当組織	教育課 生涯学習推進グループ			事業費	12,347,909円		
カルチャーセンター管理運営事業		予算科目	会計 一般会計	款	10教育費	項	6社会教育費	目	3社会教育施設費
事業概要	事業の意図	文化・芸術に親しむことや、町民が利用しやすいカルチャーセンター運営を行う。		平成27年度		単位	評価結果	○	目的妥当性
				施設の利用者数				38,908	人
事業概要	事業の意図	文化施設として、安全・安心して利用できる状況にしておくために維持管理が必要である。		指定管理者等の民間委託では、利用者数が少なく採算は合わない。芸術文化活動団体(館利用者)の育成、住民主体型の自主事業の開催、ボランティア運営、寄付金や友の会組織の運営なども考えられるが、地域的に土力が弱いうえ、魅力・興味あるものに高めていくためには経費面からみて極めて困難である。図書室利用度を向上するには、図書等を新增・充足させなければならない。よりよい施設・対応を心がけ、再利用率の向上に努める。⇒利用者は話題の最新刊や児童生徒用の図書の充実を求めており、要望に基づき整備が必要である。		課題とその解決策		○	効率性
								×	公平性
総括と今後の方向性	全体総括								

27-03-000007		担当組織	教育課 生涯学習推進グループ			事業費	928,359円		
水上中部コミュニティセンター管理事業		予算科目	会計 一般会計	款	10教育費	項	6社会教育費	目	3社会教育施設費
事業概要	事業の意図	主に水上地区におけるコミュニティー活動を推進する。		平成27年度		単位	評価結果	○	目的妥当性
				利用者数				1,200	人
事業概要	事業の意図	大穴地区老人会は活発にこの施設を活用している。今後も管理作業を委託し、より一層、施設を活用してもらおうである。		今後の活用方法について再検討する必要があると思われる。		課題とその解決策		○	効率性
								○	公平性
総括と今後の方向性	全体総括								

27-03-000008		担当組織	教育課 生涯学習推進グループ			事業費	1,744,691円		
図書室運営事業		予算科目	会計 一般会計	款	10教育費	項	6社会教育費	目	5図書室費
事業概要	事業の意図	図書室の資料及び学習場所を提供することにより、町民等の読書意欲の増進、知識・情報の習得及び生涯学習活動推進を図る。又、研修で得た情報を図書室運営に反映させると共に、加盟館との連携を通して利用者の利便性を図る。		平成27年度		単位	評価結果	○	目的妥当性
				図書室利用者数				6,199	人
事業概要	事業の意図	予算・人員削減等により利用者サービスが不十分な面もあると共に、一部利用者の環境も変化(図書室を利用する時間がない等)しているように思われる。又、図書室自体の存在も町民に充分認知されていないため、アピールしていくことも必要である。今後、社会の高齢化が進むに従って、生涯学習活動のニーズが増加すると見込まれる。より充実したサービスを目指して、町民により貢献できるように努めていく。今年度の利用状況もある程度維持しているため、利用者サービスの効果が継続していると思われる。将来的に利用者層が広がるように施設の充実が望まれる。又、今年度実施した図書室に関する町民アンケート等の結果が図書室の改善に反映されることが期待される。		効率的で質の高いサービスを提供するためにも、電算システム導入及び図書室の統廃合も含めた方向性について検討していく。		課題とその解決策		○	効率性
								○	公平性
総括と今後の方向性	全体総括								

27-03-000009		担当組織	地域整備課 建設グループ			事業費	83,098,400円		
後閑集会所施設整備事業		予算科目	会計 一般会計	款	10教育費	項	6社会教育費	目	3社会教育施設費
事業概要	事業の意図	町組区が集会所施設を利用出来るうらの郷の住民が集会所施設を利用出来る後閑区が集会所施設を利用できる		平成27年度		単位	評価結果	×	目的妥当性
				後閑公民館 進捗率				1	%
事業概要	事業の意図	現在実施している三棟は既に始まっており、完成まで現状維持とする。		本事業については、改革・改善は出来ない。ただし、施策と関連する課が事業を執行することで施策との整合性は図れるかもしれない。		課題とその解決策		×	効率性
								○	公平性
総括と今後の方向性	全体総括								

27 生涯学習の推進

27-03-000010		担当組織	教育課 生涯学習推進グループ			事業費	円					
カルチャーセンター大規模改修事業		予算科目	会計		款		項		目			
事業概要	事業の意図	文化・芸術に親しむことや、町民が利用しやすいカルチャーセンター運営を行う。			平成27年度			単位	○	目的妥当性		
					施設の利用者数			人	評価結果	×	有効性	
										○	効率性	
										×	公平性	
総括と今後の方向性	全体総括	文化施設として、安全・安心して利用できる状況にしておくために維持管理が必要である。			今後の改革改善案	指定管理者等の民間委託では、利用者数が少なく採算は合わない。芸術文化活動団体(館利用者)の育成、住民主体型の自主事業の開催、ボランティア運営、寄付金や友の会組織の運営なども考えられるが、地域的に土台が弱い。魅力・興味あるものに高めていくためには経費面からみて極めて困難である。図書室利用度を向上するには、図書等を新增・充足させなければならない。よりよい施設・対応を心がけ、再利用率の向上に努める。			課題とその解決策	メディアの多様化などにより、文化会館・図書館の事業への期待感や要望が薄れている。また、利己的利用者の増加やニーズの多様化により、共有物・共用の時間帯としての意識が薄れている。館運営の財政的措置及び人的措置がなければ遂行できない。		

27-03-000011		担当組織	教育課 生涯学習推進グループ			事業費	43,600円					
教育委員会職員研修事業		予算科目	会計	一般会計	款	10教育費	項	6社会教育費	目	1社会教育総務費		
事業概要	事業の意図	社会教育主事を置くことによって、より専門的な知識を習得し、目指すべき町の職員像に近づくことができるように個々の能力向上に結びつける。			平成27年度			単位	○	目的妥当性		
					社会教育主事講習修了者職員の数			1	人	評価結果	×	有効性
											○	効率性
											○	公平性
総括と今後の方向性	全体総括	各種団体との連携を強め、生涯学習活動を促進する必要がある。また、担当者による専門的な知識が生涯学習のさらなる啓発普及につながる。			今後の改革改善案	社会教育主事の資格取得の研修に参加できる者は、教育委員会に在籍し、実務経験年数が3年以上となっており、受講資格者がいない状況になってしまう可能性がある。有資格者が不在となる可能性がある。			課題とその解決策	職員の中にも社会教育主事の有資格者が数名居る。人事配置時期には有資格者の把握と配慮が必要と思われる。		